

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路区域線図作成事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男					
					01	08	02	01	03	57

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路境界未確定のD I D地区における市道接道者	意図	道路境界査定により、道路と民地との境界を明確にして、道路区域線図（一連の道路境界確定図）を作成し、土地取引及び災害復旧に寄与する。
事業内容	・道路境界が確定していないD I D地区について、境界立会いを実施して道路区域線図を作成して管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和63年度から平成13年度までは市単独事業で実施していたが、平成21年度より国、県の負担金事業として、南流山地区及び西初石4丁目地区を実施した。以後、美田地区、東初石地区を予定している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		実施区域	25	21	8	ha	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・官民境界を確定させる事で、円滑な土地取引及び災害復旧に寄与できるが、個人の財産境界を確定させるため、理解を得るのが困難である。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		29,528,975	30,434,710	20,548,530			
事業費(b)(円)		7,110,575	6,529,110	2,962,946			
うち一般財源		1,865,825	2,479,110	775,946			
職員給与費(c)(円)		22,418,400	23,905,600	17,585,584			
人役・職員(人)		3.00	3.00	2.00			
人役・再任用(人)			1.00	1.00			
人役・臨職(人)		0.70	0.40	1.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・当面は1筆地調査に至らず、官民境界先行調査とする。	取り組みの課題	・民間による測量においても、地籍調査同等の成果と認められる制度活用について、査定申請時にPRしたい。
今年度(H26)に実施した取り組み	・西初石4丁目地区の査定を着手した他、次年度以降の候補地について、国土地理院と調整を図った。	今後の改善計画	・国による基本調査地が次年度以降の対象地になるが、基本調査の有り方について過去を踏まえて改善要望をする。